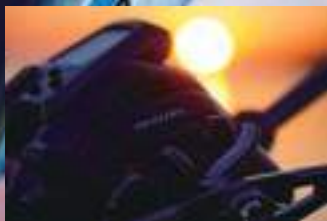


# 直感的に巻いて掛ける 冬の大型タチウオ

# 船釣りの作法

【連載】※月1掲載

技法  
釣技  
釣食



新型電動リール・フォースマスター600で東京湾の大型タチウオを楽しむ

ここ数年、2月から3月の「冬タチ」と呼ばれる東京湾のタチウオ釣りは、アタリを出すこと、掛けることが一筋縄ではいかない、けれど釣れば大きい、難しくも面白いシーズンとなっている。

富所潤さんが三浦半島走水港を訪れたのは年明けの数釣りが終息、大型主体になってきた2月の初め、まさに「冬タチ」模様の真っ只中。

釣り場は走水沖の水深60メートル台。船長のアナウンスするタナは55〜50メートル前後。富所さんは指ボタナの下限までテンヤを沈め、電動微速巻きを入れながら省エネバイプレーションで探っていく。するとテンヤの抵抗が軽くなる場所に差し掛かり、不意に穂先が跳ね上げられる。

「アタった!」

同時に素早く竿を上げて合わせに行く。しかしまだフッキングしていない。ここで富所さんは瞬時にタッチドライブを強く押し込む。



◀サーベルマスター船テンヤ40号。素早く沈み海中では水平姿勢となりバイプレーションで激しくヒラを打つ

◎富所潤 タチウオをはじめ船釣り全般、ティップエギング、メタルスッテゲームなど、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端を行く



跳ね上げアタリと大型の突っ込み、食い上げに対処する。

# タックルの作法

押すか、離すか。直感的な操作が  
テンヤタチウオをさらに楽しくする

## 【フォースマスター600DH】

「テンヤタチウオ釣りにおける瞬い、合わせ、ファイト、すべてをタッチドライブで対応可能にしたリール、それがフォースマスター600です。機能が多彩なので一見、難しく思われるかもしれませんが、操作はすべてタッチドライブを押すか、離すかだけ。設定もスマートフォンより簡単です。より直感的に巻き上げを行えるため、ロッド操作、引きの感覚といった釣りの面白さを際立たせてくれる電動リールといえます。(富所丸)」  
●SPEC 糸巻機PE=2号-300m、3号-200m、ハンドル長=55mm ヘアリング数BB 8/ローラー2 本体価格=9万5200円



## ▲【NEW フォールレバー】

オモリ80号相当まで対応、フォールスピードを制御する。レバーを締め込んでもハンドルに干渉しないため一度セットしたレバーを戻す必要がなく、速度も表示されるためヒットパターンの再現も可能



## ▲【MUTEKI モーター+】

高レスポンス、ハイスピード・安定したパワーを発揮するMUTEKI MOTOR+を搭載。手返しやファイトにおいて釣り人をサポートする

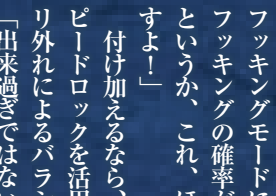
## ▶【中間速2段階設定】

タッチドライブを強押ししたときにMAXスピードまで上らず、設定した速度になる設定が「中間速」。フォースマスター600では中間速を「さそい速」と「ファイト速」の2段階に設定できる。「さそい速」はテンヤタチウオやタイラバなどで有効。「ファイト速」は魚種により設定することで安定したやり取りを可能にする



## ▲【探見丸スクリーン】

液晶画面に探見丸の情報を表示。探見丸搭載船であれば海中の魚群、海底の変化をリアルタイムで知ることができる



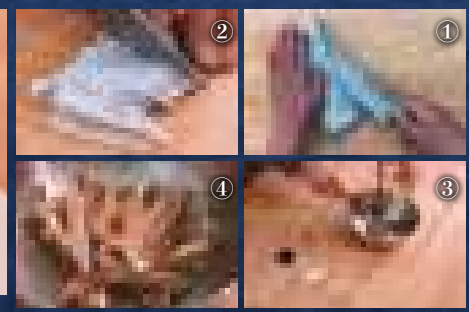
「出来過ぎではないか、と思えるほどですが、フォースマスター600の機能はテンヤタチウオに非常に有効です。今、平均で指幅5〜6本、全長120センチ級も交じる冬タチの強烈なアタリと引きを夢中になって楽しむ富所さん。見ていて驚いたのは、合わせからフ

# 食の作法

タチウオの糸づくり  
～皮をあぶらず  
生食できる調理法～



ポン酢、しょう油も美味だが、今回はゴマ和えに



- ① 釣りたてのタチウオを三枚におろす
- ② 包丁の刃先を使ってサクに対して斜めに引くと糸づくりの出来上がり
- ③ ゴマ和えのゴマペーストは、おろし生薑・ごま油・すりゴマ・砂糖・しょう油少量をよく混ぜ合わせる
- ④ タチウオの糸づくりに和えてから盛り付け、小ネギを散らして完成

© Presented by SHIMANO ©取材協力 / 三浦半島走水港・教至丸

「より直感的に操作できる電動リール」フォースマスター600はタチウオ釣りの新たな魅力と可能性を引き出す。その進化は、次世代タックルへの布石と言えるかもしれない。

アイト中、ほとんどリールを見ていないこと。つまり親指の感覚で、すべて直感的に操作しているのだ。



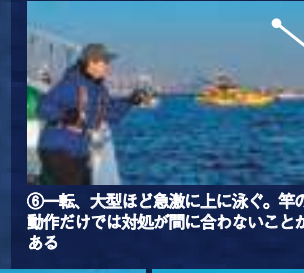
「船釣りの作法」動画公開中。  
YouTube SHIMANO TV  
公式チャンネルにてご視聴いただけます。



⑥フッキング直後に大型は強烈に引き込む



【タッチドライブスピードロック①】  
ファイト速を設定しスピードロックをONにしておくと、フッキングの後、タッチドライブから指を離すとファイト速へ減速して激しい引きに対応できる



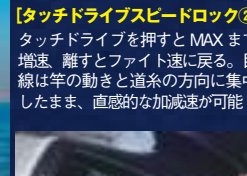
⑨一転、大型ほど急激に上に泳ぐ。竿の動作だけでは対処が間に合わないことがある



【タッチドライブスピードロック②】  
タッチドライブを押すとMAXまで増速、離すとファイト速に戻る。目線は竿の動きと道糸の方向に集中したまま、直感的な加減速が可能



同様の跳ね上げアタリに手巻きで対処する。フッキングの体勢に至るまで時間を要するケースが多い



【富所さんの中間速設定例】  
さそい速は0または1〜6。ファイト速は大型に対応すべく12〜14とやや遅め



①電動機巻巻きを入れながら省エネパイプレーションで勝負



【さそい速】  
タッチドライブをワンタッチ。あらかじめ設定した速度に



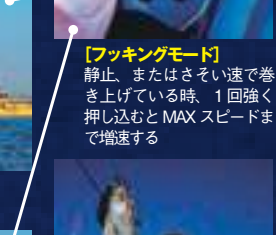
②跳ね上げアタリに合わせるもの魚も上に泳ぐためフッキングしない



【フッキングモード】  
静止、またはさそい速で巻き上げている時、1回強く押し込むとMAXスピードまで増速する



⑧瞬時にハイスピード巻き上げ。フッキングへと持ち込む



④ガッチリとフッキングする



MAXスピードに加速するモーター音とともに竿が曲がり込み、フッキングに成功。その直後、大型特有の強烈なバックスライドで竿が引き込まれる。富所さんは反射的にタッチドライブから指を離し巻き上げ速度を緩め、動く根掛かりのような引きに対応する。すると今度は一転して大型タチウオは激しく上に泳ぐ。「つ」の字を描いていた竿が突然テンションを失うと再度タッチドライブを押し、瞬時の早巻きでタチウオの動きに追従する。

「大きいですよ！これは面白い！」50メートルに及ぶスリリングなファイトを堪能して上げてきたのは、指幅5本を優に超える身の分厚い大型。そして次投も、同じパターンでヒットさせた。

「今は潮が素直で食いタナが見つけやすく、タチウオの活性も高く誘いも決まっています。穂先を跳ね上げられる強烈なアタリは、まさにその証拠です。跳ね上げアタリは合わせ損ねることも多いのですが、フォースマスター600の

この日は朝から食いが立ち、連続で掛ける。冬はチャンスを逃さず釣ることが肝要